

かがやき

令和5年 7月 19日(水)

多摩市立連光寺小学校

特別支援教室 かがやき学級

学級通信

NO. 5

「子供時間」での「夏休み」を想像する。

いよいよ令和5年の夏休みが始まります。子ども達には思いっきり楽しんで欲しいと感じる今年の夏です。「夏休み」という時間は、大人の私たちでも、子ども時代に過ごした様々な形で共通体験として記憶に残っていることが多い時間でもあると思います。「日記」「観察」「宿題」「プール」等は小学校における夏の原風景とも言えるかもしれません。あの時経験した7月後半から8月の時間は、子供時代本当に長く感じた記憶として残っているのではないのでしょうか。しかし、大人となった私たちは今、そうした「子供時間」に感じた季節の流れを感じることはありません(個人差はあると思いますが)。

大人と子供の時間感覚のちがいについては、「ジャンーの法則(生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例すると主張されるもの)※出典・ウィキペディア」があります。具体的には、30歳の大人にとっての1年間は、30分の1で人生の3%弱であるのに対し、5歳の子供にとっての1年間は、人生の5分の1であり、人生の20%を占めているということだそうです。つまり、5歳の子供の体感時間は大人の6倍以上の長さになるということです。これを前提に考えると、10歳前後の子供が過ごす夏休みという期間のなんと長いことでしょうか(今年の夏休みの実数は35日間ですが)!この時間感覚で過ごす子供たちの夏休みはどんなものなのでしょう。夏休みが始まれば日々の生活リズムや宿題等に気をもむ大人達ですが、永遠に続くかもしれないと感じる夏休み時間の中で子供達は、うまくいくことや、いかないこともあると思います。そんなとき、かつての自分が過ごした夏休み時間を思い返して、この夏を過ごしていくとまた違った子供達の成長が見えるかもしれませんね。

制約の多くない久しぶりの夏休みです。繰り返しになりますが、この夏を子供達には「子供時間」でたっぷり過ごして欲しいと思います。安全、健康に気を付け楽しい夏休みをお過ごしください。

「夏休み時間」の始まりと終わり。

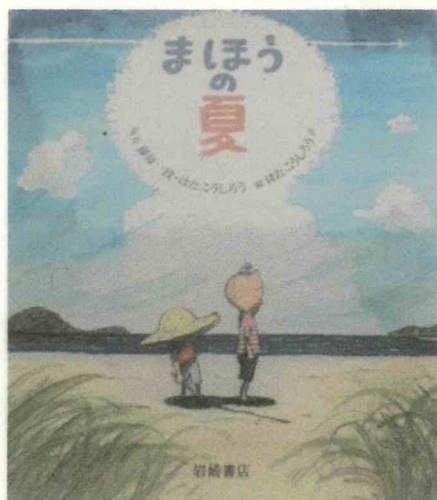
個別指導のまとめに際して、夏休みを迎えるにあたりどんな気持ちやイメージをもっているか簡単なワークシートを行いました。その中で、「始まる今の段階は当然わくわくしているのだけど、終わりを考えるとかなりブルーな気持ちになる。」という趣旨の回答がありました。上段でも話題としましたが35日間の時間は子供達の時間感覚ではとても長いものになると考えられます。長い休みを始めること、終わっていくことへの、大人と子供お互いの心の準備をしておいてもいいかもしれません。また、人によっては「宿題」等の課題に対しての取り組みを計画的に行うことが難しいことがあるかもしれません。そうした個々の苦手さや課題に対して先んじて理解できている部分があれば、個別の支援を行うことも必要です。夏休みの始まりと終わりに向けて準備をしていければと思います。また、夏休み明けで何か心配な点、不安な点等あれば「かがやき教室」までごお気軽にご相談ください。

子供達への理解や支援のヒント・どんなタイプ?(子供ごとにいろんな支援の視点がありますね)

- どんなことが得意で、どんなことが苦手か(スケジュールリング・こだわり・見通し等々)。
- どのような言い方、タイミングだと伝わりやすいか(指示の内容=伝え方・言葉遣い)。
- 視覚的に示すとわかりやすいか(イラスト)・一緒にやればできそうか・ひとりでは難しいことも一緒にやればできるか・どんなこだわりをもっているか(完璧主義かそうでないか)。

「どこまでどんな支援を」といろいろ悩まれることもあると思います。ただ、失敗から学ぶことが苦手な子もいたり、何らかのきっかけ支援があればできる子もいたりします。支援の形はオーダーメイドで本当に人それぞれのものであります。その子に合った支援は何か、悩みながらも寄り添い、「~したらできた」という肯定的なスキルにしていけたらいいなあと思います。

かがやき文庫・絵本の紹介



「まほうの夏」

作 藤原一枝・はたこうしろう 絵 はたこうしろう

都会で暮らす兄弟の夏休み。「あ～あ、なんか楽しいことはないかなあ。」お母さんの田舎へ遊びにいけることとなった兄弟。虫取り、夕立、海水浴、釣り。どれもこれも素敵な思い出に。ひと夏の魔法のような体験を楽しめる本です。

お知らせ

- ・夏休み明けの指導は、9月5日(火)から始まります。連絡帳等、持ち物のご準備をお願いします。
- ・配布した個別指導計画については、ご家庭でご確認いただき、封筒のみご返却ください。

よろしくお願いいたします。

